

5月・6月 予定表	1
4月例会出席者・3月山行実績	2
会費と労山基金の集金について	3
山行案内 (5月・6月・7月)	4~8
山行報告	
・神成山 (梅田)	9~10
・隅田川 (八巻)	11
・身延山 (清水)	12
・天城山 (江崎)	13
・権現山・弘法山・吾妻山 (五十嵐)	14
・大室山・竜が岳 (岡田)	15~16
短歌・隅田川を歩く (羽鳥)	17
思い出の山 (五十嵐)	18~19
ちょっと一言 (五十嵐・四元)	20~21
鈴木かつ子さんを偲んで	22~36
(清水) (安彦) (村田・山口・金子) (山脇・桐生・八巻) (村上・四元・加藤)	
(江崎・嶋本) (山岡・岡田) (羽鳥) (猪狩)	

表紙写真紹介

2023/4/29に足利の野山で鈴木かつ子さんが撮影したジャケツイバラ(蛇結茨)の花です。

野山の下山口水辺にあでやかに咲いていました。

秋には種を採りに行きましたが硬くて芽が出そうにありません。ネットで、挿し木で増やせるというので今年又行こうと約束していたのに.....。

~~前田延津子~~

会報部からのお願い <表紙写真>

6月号は山岡みやさん、7月号は村田綾子さんです。

その際、100字程度の紹介文を添えて、前月20日までに、会報部(清水)へ提出して下さるようお願いいたします。

5月・6月予定表

日	曜日	5月	日	曜日	6月
1	水	山行部会 (18:00~20:00)	1	土	雪入山
2	木		2	日	
3	金	憲法記念日	3	月	
4	土	みどりの日	4	火	
5	日	こどもの日	5	水	山行部会 (18:00~20:00)
6	月	振替休日	6	木	
7	火		7	金	
8	水		8	土	
9	木		9	日	総会
10	金		10	月	
11	土	高尾山	11	火	
12	日	例会 (14:00~16:00)	12	水	
13	月		13	木	
14	火	県連 岩間アルプス	14	金	
15	水	運営委員会	15	土	浜離宮恩賜庭園ウォーキング
16	木		16	日	
17	金		17	月	
18	土		18	火	
19	日		19	水	運営委員会
20	月		20	木	
21	火		21	金	
22	水		22	土	石尊山
23	木		23	日	
24	金		24	月	編集会議 (10:00~12:00)
25	土	赤城山 県連・磯根浜クリーンハイク	25	火	
26	日		26	水	
27	月	編集会議 (10:00~12:00)	27	木	
28	火		28	金	
29	水		29	土	
30	木		30	日	
31	金				

7月山行予定

★7/6((土) ~7/7 (日) 上州武尊山

★県連

★5月~10月クライミング講習

★5/25 (土) 磯根浜クリーンハイク 雨天時5/26 (日)

4月例会出席者

4/11

36名

司会山脇

安彦、松本、加藤、岡部、桐生、村上、八巻、小林、伏見、前田延、山岡、村田、間瀬、五十嵐、四元、江崎、三橋、嶋本、猪狩、羽鳥、井上勝、山脇、梅田、赤塚、菅谷、山口、菅原、清水、金子、笹、岡登、伊藤、富永、吉留と、吉留政、西堀

2024年3月山行報告

月	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
1	エーデルワイススキー	雪	3/2	個	1	菅谷 (ツアーバス)
2	景信山(かげのぶやま) ～高尾山(たかおざん)	ハ	3/3	個	3	岡登、熊谷、柳
3	鶴原理理想郷ウォーキングと勝浦ひな祭り	ウ	3/3	会	18	村上、八巻、三橋、山岡、加藤、前田延、間瀬、四元、江崎、石塚、嶋本、井上勝、山脇、山口、笹、伊藤、富田、猪狩
4	会津高原たかつえスキー	雪	3/3～3/5	個	2	羽鳥、畑中 他1名(3日-4日)
5	朝日峠展望公園・小町山(こまちやま) ・宝篋山(ほうきょうざん)	ハ	3/4	個	1	安彦
6	宝篋山(ほうきょうざん)下見	ハ	3/9	個	4	安田、桐生、江崎、嶋本
7	宝篋山(ほうきょうざん)下見	ハ	3/9	個	1	安彦 6の「宝篋山(ほうきょうざん)下見」と合流
8	丹沢(ロープワーク基礎講習会)	他	3/9～3/10	個	1	岡田 (小林美智子ロープワーク講習会)
9	大島 三原山(みはらやま)	ハ	3/12～3/13	個	3	畑中、山口、石塚 他5名
10	ミツバ岳・権現山(ごんげんだけ)	ハ	3/15	個	2	蓮見、金子
11	四阿山(あずまやさん)	ハ	3/15～3/16	個	1	岡田 (ヨシキ冬山講習)
12	高尾山(たかおざん)下見	ウ	3/16	個	3	加藤、三橋、石塚
13	馬放平(ばほうだいら)地図読み	ハ	3/17	個	6	菅谷、五十嵐、菊池、山口、蓮見、富永
14	神成山(かんなりやま)下見	ハ	3/18	個	5	桐生、伏見、嶋本、井上順、岡部
15	馬不入山(うまいらずさん)・見石山 (てるいしやま)・太平山(おおひらさん)	ハ	3/18	個	1	安彦
16	笠間アルプス縦走(岩間～福原)県連下見	縦	3/19	県	1	羽鳥 他4名
17	金時山(きんときやま)	ハ	3/20	個	2	熊谷、柳 他1名
18	エーデルワイススキー	雪	3/20	個	3	畑中、蓮見、金子 (ツアーバス)
19	川場スキー場	雪	3/22	個	1	菅谷 (ツアーバス)
20	隅田川 川辺のテラス	ウ	3/27	会	22	村田、八巻、村上、手塚、松本、加藤、桐生、間瀬、三橋、石塚、羽鳥、井上勝、山脇、赤塚、菅谷、山口、伊藤、富永、吉留政、吉留と、江崎、嶋本
21	塔ノ岳(とうのたけ)	ハ	3/30	個	1	柳 ガイド(中山岳史)他
22	青梅 要害山(ようがいざん)	ハ	3/30	個	9	桐生、小林、伏見、五十嵐朝、江崎、嶋本、菊池、山口、間瀬

3月の会山行「三雲山」「身延山」は、悪天候により中止しました。

古…古道 ハ…ハイキング ウ…ウォーキング
沢…沢登り 縦…縦走 岩…岩登り 雪…雪山、スキー

労山基金集金について

労山基金は7月1日から新しい年度となります。

5月と6月の例会時に集金いたします。

現在の加入口数は山行計画書書式の住所録に載っていますのでご確認下さい。

労山基金（労山山岳事故対策基金）とは

遭難対策事業の一環として、日本勤労者山岳連盟(労山)が運営している基金です。

労山会員の寄付によって運営する、会員のための山岳遭難救済制度です。

救助・捜索やケガ、急病などの登山中の事故を救済対象とします。（HPより）

労山基金担当 金子

2024年度 東葛山の会 会費の集金

<2024年5/1～2025年4/30>

金額：6000円

6月9日（日）総会が始まる前に集金いたします

担当 岡部千恵子 菅原恵子

2024年度

中央公民館 ロッカーの鍵 番号 34

山 行 案 内

5月の山行予定

*高尾山 ゆるい山 (全会員対象) (体☆)

日 時 : 5月11日(土)

担 当 : (CL) 加藤、(SL) 石塚・三橋

*赤城山 地蔵岳 1674m、長七郎山 1579m ややきつい (体☆☆)

日 時 : 5月25日(土) 雨天 : 中止

中止の場合は5月22日(水)にメールで連絡します。

担 当 : (CL) 猪狩、(SL) 蓮見・菅原・井上順

*雪入山 ゆるい山 (全会員対象) (体☆+危技★)

日 時 6月1日(土) 集合 8:20 (鎌ヶ谷市役所前) 雨天中止

担 当 : (CL) 清水、(SL) 間瀬・野沢・笹

6月の山行予定

*「自然教育園」 & 「浜離宮恩賜庭園」の散策

日 時 : 6月15日(土) 日帰り (雨天中止)

「自然教育園」正面入口に 10:15 **現地集合**

交 通

往 路 : ①鎌ヶ谷(東武線)8:33—8:43 船橋(総武線)8:52—9:20 浅草橋(浅草線)9:31 9:46 三田(三田線)9:58—10:03 白金台【1番出口】・・・**10:15 自然教育園**

*白金台【1番出口】から階上に出て徒歩5分で自然教育園に着きます。

園内を自由に散策&昼食(約2時間30分) **集合出発 13:00**

②白金台 13:18—13:27 溜池山王 13:34—13:37 新橋

新橋駅から歩いて **14:00 浜離宮恩賜庭園**

園内を自由に散策 (約2時間)

16:00に浜離宮恩賜庭園入口に集合して**現地解散**

歩行時間 : 約4時間30分(休憩含む)

復 路 : 浜離宮恩賜庭園—築地(日比谷線)16:14—16:17 茅場町(東西線)16:22—16:43 西船橋(JR 総武線)16:48—16:51 船橋(東武線)17:05—17:15 鎌ヶ谷

交通費： 約 1,700 円

入園料： 自然教育園 320 円 (65 歳以上は無料)

浜離宮恩賜庭園 300 円 (65 歳以上は 150 円)

中止連絡:6 月 12 日 18:00 にメール連絡します(週間天気予報で当日が雨の場合)。

担 当：(CL) 羽鳥、(SL) 村上

*石尊山(1667.7m) ふつう~ややきつい 山 (体☆☆)

浅間山の寄生火山で雄大な景色を眺められる

低山だが信仰もあることを感じられる神秘的な山

日 時：6 月 22 日 (土) 集合 8:30 しなの鉄道 信濃追分駅 集合解散

雨天中止 6/19 メールで連絡

日 程：東京 6:52→上野 6:58(あさま 601 号)→8:04 軽井沢 8:14(しなの鉄道 長野行)→8:22 信濃追分

コース：信濃追分駅 8:30…登山口 9:00…赤滝…ケルン…血の池…石尊平…11:50 頂上 12:20…石尊平…血の池…ケルン…赤滝…13:45 登山口…14:15 信濃追分駅 (歩行時間 6 時間半 休憩含)

※ 14:32 15:08 15:53 16:36 17:46 信濃追分発軽井沢行

【歩程】：累計標高差又は標高差 ・登り 760m 下り 760m

山の特徴 (危険)：浅間山の火口から 4 km 以内なので噴火レベルに注意現在レベル 1

アドバイス：気温、湿度によってはキツイ山に変わる可能性あり

交通費概算：11000 円位 (7900 円 大人の休日倶楽部)

交通費詳細<新幹線>上野ー軽井沢 ¥5280 しなの鉄道軽井沢ー信濃追分 240 円

その他：昼食 1 下見・入浴：なし

担 当：(CL) 岡登、(SL) 岡部・前田・嶋本

7 月の山行予定

*武尊山(ほたかやま) 2,158m きつい山(体☆☆☆+危技★★)

東洋のナイアガラを楽しみ、翌日は日本百名山を堪能する

日 時：7 月 6 日(土)~7 日(日) 荒天の場合は中止

集合：沼田駅 関越バス尾瀬戸倉行 13:00 発に乗る

(昼食は済ませてきてください)

解散：沼田駅

交通(参考)：往路；(A) 新鎌ヶ谷 9:21→10:37 大宮 10:45→11:58 高崎 12:02→12:51 沼田 (¥2,730)

(B) 新鎌ヶ谷 8:43→9:02 松戸 9:10→9:30 上野 9:44→
11:41 高崎 12:02→12:51 沼田 (¥2,850)

復路；沼田発高崎行 18:02 19:02

日程：1日目；沼田駅 関越バス尾瀬戸倉行 13:00 発→13:40 吹割の滝 散策
 15:00 吹割の滝より宿お迎えにてグリーンフィールドへ
 2日目；キャンプ場ゲート開放時間に合わせて歩行開始
 ほたか牧場 8:10…三合平 8:30…10:00 高山平(武尊避難小屋)…セビオス岳…
 中ノ岳 11:50…武尊山 12:25/13:00…中ノ岳 13:30…セビオス岳…高山平 14:50…
 ほたか牧場 16:00

歩程：約 12km 累計標高差 登り(900m) 下り(900m) 計 8 時間(休憩含む)
 エスケープルート：来た道に戻る

山の特徴：武尊山の登山ルートの中では比較的歩きやすいコースだが 8 時間近くかかり、
 鎖場もあるのでそれなりの体力と技量が必要

交通費：在来線 6,000 円位(往復であればジパング利用可) + ¥1,370 バス(沼田→吹割の滝)
 宿泊費：グリーンフィールド 11,800 円(2 日目の昼弁当・沼田駅迄の送迎代込)

* 帰り、花咲の湯立ち寄り可 850 円(土日祝日料金)
 * 送迎車は 17 人迄。担当者 4 人なので 13 名まで
 * キャンセルは 1 週間位前までに

担当：(CL) 畑中 (SL) 蓮見 岡田 金子

県連関係予定行事

第 23 回ウイークディ山行 『新緑の笠間アルプスを歩く』 参加者募集

山行日 2024 年 5 月 14 日 (火) 現地集合・現地解散

日帰り：コース 茨城県「笠間アルプス 縦走」 常磐線 岩間駅 → 水戸線 福原駅

参加者：各会で行動 移動 電車利用

交通費：1808 円(千葉～岩間) (岩間タクシー Tel:0299 45 2103

愛宕山駐車場まで 1500～1600 円) 当日行動(電車)

(往)：JR 千葉駅 6:17 発→船橋駅 6:39 乗換東武アーバンパークライン 6:47 (急行)

→柏 7:11 乗換 JR 常磐線 7:22→快速 途中前 5 両切り離し→岩間駅 8:26

(復)：水戸線福原駅 15:55 16:24 17:17 17:54→友部駅常磐線乗換

(復：) 常磐線岩間駅 14:58 15:22 15:51 16:25

『健脚：縦走コース』と『ゆっくり：折返しコース』を作りました！

<健脚：縦走コース> 歩行：約 7 時間 30 分(休憩含む)

JR 岩間駅 8:45 出発⇒愛宕山駐車場 9:45/55⇒南山展望台 10:30/45⇒団子石
 11:30/40 ⇒難台山 12:30/45⇒道祖神峠 13:45⇒吾国山 14:30⇒吾国山登山道入口

15:30 ⇒JR 水戸線福原駅(無人駅)16:00 着・解散

<ゆっくり：折返しコース>歩行:約 5 時間 30 分 (休憩含む)

JR 岩間駅 8:45 出発⇒愛宕山駐車場 9:45/55⇒南山展望台 10:30 (昼食) 合同写真撮影 南山展望台 11:00⇒愛宕山駐車場 12:30/12:40⇒愛宕山 13:20/13:30⇒14:30 JR 岩間駅 尚、天候、電車の遅延によりコースの変更あります。

申込み・問合せ先：ハイキング委員会 田中康男 TEL：090-8331-6858

Eメール：dzb0543@nifty.com

参加申し込み：所定の用紙を各会で纏めて申し込んでください。

申込締切：2024 年 4 月 28 日 (日) 雨天中止決定日：5 月 11 日 (土) 19:00

駅のトイレが少ない！ (可能なら電車内で 3/19 下見では混雑なし)

※地図は、ちばニュース 4 月号を参照

2024 年度県連合同『磯根浜クリーンハイク』開催案内 県連 自然保護委員会

海洋プラスチックによる海洋汚染による環境破壊はますます大きな問題となっています。自然保護の立場から海岸でのプラスチックゴミの回収を行い、少しでも環境破壊を食い止めることを願い、県連では昨年度、磯根浜でクリーンハイクを行い、75kg ものプラスチックゴミを回収しました。しかし、まだまだ大量のゴミが残っているので、今年も同じ場所で、素晴らしい景観を見ながらのクリーンハイクを計画しました。素晴らしい海岸の風景にゴミはふさわしくありません。ご協力ください。

日にち：5月25日(土) 雨天順延 5月26日(日)

集合場所・時間

*電車での参加 JR 大貫駅改札口外 10:00

*車での参加 大貫漁港脇ゴミ集積場 10:20

クリーンハイク開始 10:30

コース 磯根海岸「東京湾観音」近くの海岸まで往復 回収したゴミは集積場に持って行く
歩行時間：約 3 時間

持ち物：弁当(海岸で昼食)・飲み物・雨具・帽子・手袋・トング

問合せ・参加申込先 各会の自然保護委員が別紙申込用紙に記入し菅井まで報告して下さい。

自然保護委員が決まっていない会では各会の理事が申込みをして下さい。

菅井 修 fa23475@wa3.so-net.ne.jp 申し込み締め切り 5月16日(木)

「大貫駅」への電車(往路) *JR 内房線快速 君津行き 千葉 8:44→蘇我 8:51→木更津 9:21 乗り換え 上総一宮行き 木更津 9:31→君津 9:39→大貫 9:51

「大貫駅」からの電車(復路) 千葉方面 13:33 14:33 15:28 館山方面 13:46 14:46 15:59

第 26 回全国自然保護講座が、千葉県連主管で 6 月 15 (土) ~16 日 (日) に開催予定です。

2024 クライミング講習（入門編）案内 千葉県連「教育遭難対策委員会」

これからクライミングを始めたいという方を対象に、クライミング講習（入門編）を開催します。室内ジムでリードクライミングができるレベルまでを指導しますので、やる気のある方はご参加ください。

記 1. 【講習の対象と条件】

- ・これからクライミングを始めたい、基礎知識・技術を身に付けたいと希望する労山会員。
 - ・受講開始時に 65 歳以下の方。
 - ・6 回の講習会に原則参加できる方。
 - ・労山基金に 5 口以上加入もしくは同等以上の保険に加入していること。
- * 昨年 of クライミング講習に参加した方はご遠慮ください。
2. 【講習期間】 2024 年 5 月 18 日（土）～ 10 月 19 日（土）の 6 回
 3. 【定員】 6 名（6 名以上の募集があった場合は調整します。）
 4. 【参加費用】 無料 但し、施設利用料、教材費、交通費、食費などは各自負担。
 5. 【机上講習場所】 アウトドアショップ ヨシキ&P2（津田沼）
 6. 【実技講習場所】 室内クライミングジム（印西クラック：BIG HOP ガーデンモール印西
 7. 【申し込み】 各会理事より教育遭難対策委員会 伊東春正へ <itou2385@yahoo.co.jp>
- * 申込書は各理事宛に別途送付
8. 【申し込み期限】 4 月 19 日（金）

9

・ 【講習日程】

回	テーマ	日にち	時間	場所
1	装備の説明（机上）	5月18日（土）	10：00～15：00	アウトドアショップヨシキ（津田沼）
2	トップロープ	6月15日（土）	10：30～15：00	印西クラック（印西牧の原 北総線鉄道）
3	クライミング訓練	7月20日（土）		
4	リード	8月17日（土）		
5	クライミング訓練	9月28日（土）		
6		10月19日（土）		

神成山会山行報告（321m）

日 程：4月5日（金）

参加者：加藤延子、桐生千恵子(SL)、八巻幸子、小林和子、伏見純子（CL）、
前田延津子、間瀬芳枝、五十嵐朝子、四元一成、菊池光子、井上勝代、
山脇多美、山口洋子、井上順之(SL)、梅田尚志（SL・記）

1年余りの間が空いての会山行。気力体力の減退を感じつつも、春の訪れに抗いがたく参加した。それもSLの一人として何も仕事をしていないのだから、このレポートぐらいのお勤めはせねばなるまい。

天気は花曇り、桜は満開に近く爛漫の春。足腰にも優しく程よい行程なのだ。数年前に県連山行で一度歩いているコース。中学校裏の登山口では、春休み中の子供たちに見送られ、平均でも5～6倍の齢を重ねる爺婆部隊が山城跡のコースを鎧武者よろしく勇ましく進む。新緑と花、快適な風を受けて空気が旨い。

少女のような「キャッキャッ！」の感嘆の声が轟く。トーゴクミツバツツジのピンクがまさに見頃なのだ。右を見ても左を見ても、上も下も前も後ろも鮮やかな紅桃色が山肌を染めている。そして足元にはスマレと、珍しいギンラン、シラン、エビネ等の名前の知らない野生欄がヒツソリと咲く。それもあちこち柵で囲われ保護されているが、「盗掘をしてください」と言っているように見え逆に心配する。

九つの峰を次々と越えてゆく、ここは別名「富岡アルプス」とも呼ばれている。戦国時代の山城だから、土塁や空堀、塹堀や切岸と平らに均された曲輪の跡らしき遺構が次々と現れる。本丸跡で見晴らし台とともに全貌が見えてきた。

遥か下界の里を走る上信電鉄の懐かしい列車の響き、そしてまだまだ、いくらかでも花盛りのミツバツツジが飽くことなく歓迎してくれている。



日本一整備されている山道と自慢しているだけあって歩きやすく、危険箇所はまずない。急下降でも雨に遭わない限り心配なし。

九つの峰をすべて踏破して、下山口に辿り着くとそこには栽培されてはいるのだが、オキナグサがこれも見頃の花を咲かせていた。残念なことに、この花は陽射しがないと開かない種の様で、すべての花が俯いていた。前回は見事に花開いていたのを思い出した。丁度小雨も降り出し、駅までの1 Kmほどの里道を急いだ。雨具も必要のない雨だが、ずぶ濡れになる前に駅に到着した。落伍者もなく全員無事に一駅分（神農原―南蛇井）を歩いてここで解散とした。

ホームで次の便を待つ間にまた喚声が湧いた。使用していない線路一面にあるオキナグサが自生していた。多分地元の人の手が入っているのだろうが、山旅のフィナーレに相応しいシーンであった。

オキナグサは多分「翁草」と書くのだろうが、自分を振り返ってみれば既に立派な後期高齢者の仲間入りをしたオキナとなってしまっていた。しかしまだ暫くは山の自然、季節ごとの風月を楽しむ隠居の人生を、足腰の続く限りは続けたいと思う。



隅田川ウォーキング（川辺のテラス）

3月27日 晴れ

八巻 幸子

以前高見さんが計画をしていました。言問橋から対岸に渡り勝鬨橋まで歩くコースです。

前日の大雨を心配しましたが当日は抜けるような青空、新鎌ヶ谷駅のホームからも富士山が見えていました。

総勢24名とコロナで会えなかった池谷さんも参加です。とても元気そうです。歩き出しは押上駅からです。言問橋から桜橋を渡り台東区の川辺のテラスに入りました。橋は台東区、千代田区、中央区の勝鬨橋まで14橋あります。

屋台も、いつでも開けられるように準備ができていました。桜は少し早かったのですがたくさんの方が、散歩を楽しんでいました。その中には、保母さんに連れられた小さい子供たちも、花壇のお花を楽しんでいました。また水上バス乗り場には、大勢の人がならんでいました。浜町公園で昼食にしました。公園を出る時にそばの桜の木に5～6輪咲いているのを見つけました。

橋のそばで工事をしているところが何か所もあり、右往左往してしまいましたが、新大橋を過ぎ一時間ほど歩き、聖路加病院を過ぎ14時5分に勝鬨橋の下に到着しました。ここで解散することにしました。皆さんそれぞれ東銀座駅に…………… お疲れ様でした。



富永好郎さん撮影

身延山

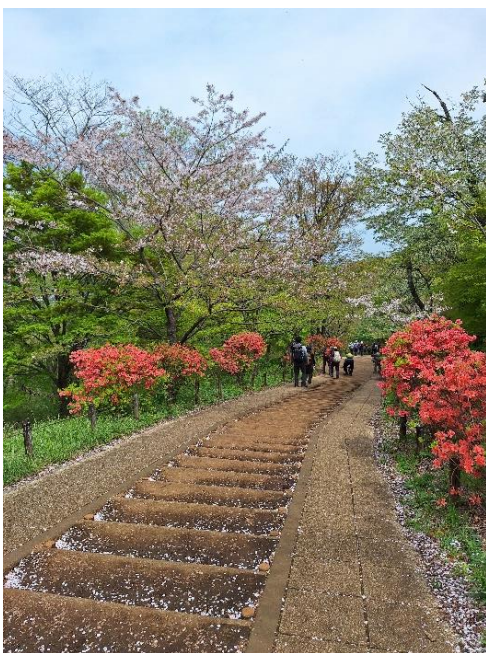
日程：4月2日

猪狩、富永、清水記

会山行の身延山が中止になり個人山行に切り替えて行って参りました。当日朝は予定通りの電車に乗車し集合場所の新宿に向かいましたが、途中北千住駅で体調不良者が出たため暫らく停車しますとのアナウンス。停車して15分後位でようやく発車。このまま行くと新宿発車時間の3分前に到着予定です。新宿駅で3分で乗り換えられるか、やきもきしながら到着。到着して山手線と中央線は2つ隣のホームだったため発車ベルと同時に乗車してギリギリセーフ。指定席に行くと猪狩さんが「もう来ないのかと思った」と、言われ事情を説明しホット胸をなでおろしました。

身延駅に着きバスに乗り継ぎ山道に到着すると、桜は8～9分咲きで会山行の予定から3日ほど遅れたのが正解でした。目の前に急な長い階段がありやっとの思いで登りきるとそこはまだロープウェイの始発駅。気を取り直し2時間ほどゆっくりと歩き山頂へ出てお参りです。

昼食休憩をとりゆっくりと下山をすると、朝と比べて桜は満開になっていました。途中満開の桜並木とつつじのコラボレーションを見て、珍しい光景に大満足。今年は桜の開花が遅れたのでこんな光景が見られるのだなと思いながら下山。山門の所では立派な枝垂れ桜も満開です！朝の出だしは散々でしたが、終わってみればとても良い一日となりました。



桜とつつじのコラボレーション



満開の枝垂れ桜

天城山（1,406m）

日程：4月8日(月)

参加者：安田・嶋本・江崎（記）

前日、熱川温泉に泊まり美味しい朝食をしっかりと頂き、ホテルからバスに乗り登山口の天城高原ゴルフ場に向かう。(千葉バスのツアーに参加しました。) 出発から小雨模様でカッパ、スパッツを身に着け9:20 出発。

第一目標の万二郎岳 1209m、ゴロゴロ、グチャグチャの登山道、何年か前に来た時はもう少し歩きやすかった気がした。年をとったせいかな・・・？ 四辻を過ぎひたすら登る。10:50 万二郎岳着。馬の背と呼ばれる平坦な場所から、緩やかに下り、また急な登り、もうすぐ山頂かな～。頑張らなきゃ。

12:20 万三郎岳山頂 1,406m着。万三郎岳に向かう登山道の両側には馬酔木の白い花が咲き、シャクナゲの樹もちらほらと蕾がふくらんで春ですね。

下山は往路を戻る。小雨で登山道は濡れていて、急坂は更に慎重に下る。16:00 登山口に到着。登山靴の泥を落とし、そそくさと着替えバスに乗車。帰路のバスの車窓からは山の斜面には桜・桜・桜と春爛漫でした。



権現山・弘法山・吾妻山

参加者：井上（勝）、加藤、岡部、桐生、村上、八巻、小林、伏見、前田（延）
村田、間瀬、江崎、三橋、嶋本、菊池、猪狩、山脇、山口、清水、伊藤、
富永、他一名、五十嵐（記）

ハイキング日和の中、駅から歩き始めて 30 分ほど経った時、後ろの班から、まったく逆方向に歩いている事を指摘され、駅方向へ戻り、登山口を目指しました。北口と南口の出口の単純なミスでした。下見をしなかった事の反省しきりです。登山口には大勢のハイカー、狭い登りで譲りながらの歩きは大変でした。それでも尾根に出てしまえば、歩きやすい道となり、桜の種類も沢山あり、お花見は十分楽しめました。

足元にはスマレをはじめ春の花が沢山咲いていました。車で中腹まで行けるので家族連れも多く、さくらまつりの時は大変な混雑が予想されます。浅間山、権現山、弘法山、吾妻山とミニ縦走を終え、男性 3 名とは鶴巻温泉の「弘法の湯」の前でお別れしました。

25 名と沢山の方に参加していただき有難う御座いました。



大室山・竜ヶ岳へ

日時 4月13日(土)～14日(日)

メンバー 岡田

岡田 友子

4月13日(土)から都岳連トレッキングスクールの大室山・竜ヶ岳へ1泊で行って来ました。

1日目 晴れ

6:30 新宿をバスで出発、10:20 富士風穴入口駐車場到着し、10:30 トレッキングスタートする。

すっかり春めいた気温でぽかぽかと暖かく季節の移り変わりを肌で感じながら歩き始めました。目の前に見える景色は全て枯れ葉の落ちきった枝しかない木々と足元には落ち葉、真冬の時と変わらないであろう山容で、きっと新芽が吹き出す直前で、今時期は真冬の山容の見納めで、数週間後には違った春が見つけれられるのだろうと季節の変わり目の端境期の山なんだろうなあと思いながら歩きました。花とか何か目的のある山ではなく、その時々何もない山も私は好きだなと思いました。

11:40 大室山山頂、12:30 大室山南峰到着。

大室山山頂や南峰到着前までは雑木林で展望がなかったけど、南峰に到着すると目の前にドドーンと富士山、遠くには南アルプスがお天気が良かったのでキレイに見ることができました。

13:30 富士風穴へ。

ヘルメットとベッドライトと上下雨具とセルフビレイ装着する。洞窟内に降りるのに岩場の足が届かないだろうと、背の低い私は心配されて背の順で先頭になる。心配でしたが岩場は無事すんなりでした。良かったです。洞窟は入口から冷んやりしていて洞窟内は真っ暗、上にはツララ、下にはツララから滴る水滴からできた氷塊のオブジェでキラキラしていました。真っ暗な中、ベッドライトだけが頼りで、洞窟内は岩と氷だったので足と手を慎重に置いて歩きました。

真っ暗だけど、キラキラな宝石みたいな氷 ✨ ✨ ✨

気分はすっかり探検隊でした。洞窟外で大学生のグループがいて、探検サークルの方々でした。面白いサークルがあるんだなあ！



15:30 富士風穴駐車場到着し、樹海荘で宿泊。

樹海荘ってネーミングが恐ろしく宿泊が怖かったですが霊媒体質の私ですが金縛りも憑依もなく熟睡できました。

2日目 晴れ

6:00 朝食 7:30 樹海荘出発 7:40 本栖湖畔登山口へ。7:45 トレッキングスタート。

10:00 竜ヶ岳山頂到着、1日目と同様、山頂付近まで雑木林で展望がなかったけれど、山頂で目の前に富士山がドドーンと、遠くに南アルプスの山々の絶景が広がっていました。11:46 本栖湖畔登山口到着する。



帰りはこの辺の日帰り温泉はどこも高いらしく一番値段が手頃な 900 円の紅富士の湯に寄りました。さっと汗だけ流して帰れば良いと思っていましたが、ナント！お風呂からも露天風呂からも富士山が目の前にドドーンと！露天風呂までありました。富士山が目の前に見られるお風呂だなんて。安いところに寄りますとあっさりだったので嬉しい誤算でした。洗い施設も味があって好きだけど、景色×露天風呂×広々とキレイな施設にのんびりしました。

大渋滞に備えて（アルコールアレルギーで飲めないの）ノンアルのビールをバスに持ち込み渋滞ものんびり満喫し、2日間の良い休日になりました。

富士山の雪は思ったより少なく、例年を知らないのでもともわかりませんが、4月中旬の富士山の様子を毎年追っていきたいと思いました。



隅田川テラスを歩く～高見さんありがとうございました

羽鳥健一郎

シニアらが二十余人も集いたり春のうららの隅田川ウォーク
サプライズ辞めし仲間の顔のあり押上駅に歓声上がる
シニアらは桜橋から隅田川テラスを歩み勝鬨橋へ
隅田川テラスを歩むよちよちとカルガモの様な園児らの列
佐倉市の歩こう会がすれ違う春の陽を浴び隅田川沿い
浜町の公園に咲く二三輪今年の開花七日程ずれ
うらかな陽ざしの中を仲間らと隅田川沿いのんびり歩く
春の陽を浴び隅田川キラキラと水面は光り船の行き交う
隅田川光る水面の彼方には数多のタワーマンションが立つ

高見さん皆さん完歩しましたよ貴方がたてたこの企画



思い出の山

五十嵐朝子

山溪の雑誌に載っていた「下の廊下」の記事を見て、「行ってみたい！」と思うようになりました。2013年8月後半で百座目の「富士山」を主人と登り終え、「下の廊下」が現実味をおびてきました。

黒部ダムから仙人ダムまでを「旧日電歩道」、仙人ダムから樺平までを「水平歩道」と全30kmを「下の廊下」と言います。

ここは、9月の中旬～10月末（小屋が営業してる）の短い期間しか歩けません。テントの人もテントは阿曾原温泉まで行かないと張る事が出来ません。今のようにスマホが有るわけでもない中、下調べは大変でした。

10月10日、体育の日の祝日を入れて、2泊3日の予定。大町で前泊し、朝一番のバスで黒部ダムへ。大勢の観光客と別れ、旧日電歩道の案内板に従い、黒部川に掛かる橋を渡り、ダムの放水を背中にし「下の廊下」に踏み入ります。だんだん、高度が上がるにつれ幾つもの梯子を登ったり下りたり、何度も丸太の橋を渡る。やっと一人通れる程度の狭い道に足がすくむ。

こんな所で対向者が来たらどうしよう！そう思っていたら来たのです！一人の若いお兄さんがやって来ました！すかさずお兄さんが交わせる所まで下がってくれ難を逃れました。スケールの大きさに感動の連続！

雑誌で見ていたのとは大違いでした。

こんな所によくぞ道を作ったこと！先人達の苦勞を目の当たりにして、多くの工夫が亡くなられている事を忘れてはならないと、改めて思いながら歩きました。黒部峡谷には白龍狭、十字峡、S字狭など名所が沢山あります。

そんな所ではゆっくりと自然が作り出した造形美を楽しみました。

8時間歩いてやっと小屋の青い屋根が見えた時の安堵感は今でも忘れません。

阿曾原温泉、男女入れ替えの源泉かけ流しの野天風呂です。



高梯子

小屋のご主人が知り合いや山仲間を募って、毎年登山道の整備をしているので、雪崩で梯子が壊れたり、流されたりと通れるようにするには、膨大な人力と時間が掛かります。私達はそうした人達のお陰で歩けるので感謝しか有りません。

2023年にも、滑落事故が起きています。ここは、「黒部にケガ人無し」と言われるように落ちたら生きて帰れないということです。



S字峡

2日目、前日と同じで、水平とは言え、危険と隣り合わせだ。岩をくり抜いた頭すれすれの大太鼓（景勝地）を歩き、やれやれと思ったら、志合谷のトンネルを抜ける。灯りは無く、頭はぶつかりそうだし、足元は水が溜まっています、一人では心細くてとても歩けないと思いました。数々の難所を乗り越え、歩ききった「下の廊下」檜平に着いた時はやっと終わった！ほっと



水平歩道

したのと歩ききったことで、駅前ですばらく座り込んでいました。

黒部川の清らかな流れを見ながら、せせらぎを聞きながらの温泉は何とも言えない至福のひと時でした。ご褒美ですね。

檜平温泉、名剣温泉、一番奥には祖母谷温泉と秘境温泉が沢山あります。今度はゆっくり温泉を目的に行きたい所です。

6月号は四元さん、7月号は江崎さんです。前月の20日を目安に加藤までお願いいたします。

先日、「市川動植物園」まで散歩に行ってきました。車道を避け住宅街、ゴルフ場、ファイターズの脇を通り「動植物公園」に着いたらお昼でした。「外のランチは美味しいね！」とコンビニ弁当を頬張ります。

植物園のバラも、手入れの最中で一輪も咲いていませんでした。池には鯉が泳いでいますが水が少なくスイスイではなく、アップアップの感じで「どこかの池に放流してあげたいね！」カメは集団で甲羅干しをしていました。モミジの新芽が出たばかりで赤や緑で綺麗でした。

秋の紅葉シーズンにはなかなかの人気スポットになっています。木道を歩いていると「あれ！コゴミじゃない！」こんな所でお目にかかるとは…山菜が大好き（採りもの）な私は思わず手が出しそうになりましたが、ここは公共施設ダメダメ。食べ頃に伸びたセリも沢山ありました。山桜が咲き始めてきましたが、こぶしは盛りが終わりのようです。

水芭蕉はジャンボでした。可憐に咲く尾瀬に話が飛んでいく。「また、行きたいね。縦走もいいね」

植物園に上がって行くとシュンランが沢山、咲いていました。ミスミソウも囲まれ4株位有りましたが、小さくて、1cmにも満たないものでした。やはり雪国の新潟や佐渡で生き生きと咲いているから、見る人の感動も大きいのだと思います。

10年くらい昔、会で計画を立ててやりました。弥彦山から裏参道登山口への下山コースでは、登山道の両側を埋め尽くす、色とりどりのオオミスミソウの群生に皆、歓声を上げて喜んでくれたのを忘れません。リベンジで一昨年同じ下山道を歩きましたが、盗掘がひどく、探して歩くほどでした。とても残念でなりません。角田山は保護されているのでカタクリと共にお勧めの所です。

植物園からの帰り道、桜が大分咲きだしていたので、これから桃やツツジ、春の花々が次々と咲き、里山や山歩きが楽しみです。

オオミスミソウ
弥彦山にて



今年の3月で定年後20年を迎えました。

定年後10年の時はあまり感じなかったのですが、20年間は時間が非常に長く感じました。定年後の1年はあれもしたい、これもしたいと頭に描いて、長い定年後の人生を考えました。

日本の旅行をしたので日本のことを良く知ろうと、また日本人に成ろうと！20代に少し茶道をやっていたので、日本の文化の素晴らしさを少しは分かっていましたが、定年後の生活は、日本文化を中心に活動を組み立てました。また、3項目の指針がありました。

1) 新しい事の挑戦 2) 不得意なものに挑戦 3) 得意なものに挑戦 でした。広報「かまがや」を見てサークルに申し込みました。そして少しずつサークルの数が増えてきました。新しい事への挑戦は大変で緊張しました。緊張するから脳が活性化するのを実感しました。こんな状態が3、4年続きました。

20年間に色々なことに挑戦したおかげで、想像もしない事ができました。会社生活では出来ない貴重な経験ができました。また、沢山の友人ができました。山の会もその一つです。

これから山の会と共に頑張りたいと思います。



6月号の担当は江崎さんと三橋さんです。

(5月20日までに柳宛て原稿をメールにて送付願います。

norinatsul130@gmail.com

鈴木かつ子さんを偲んで

清水利夫

鈴木かつ子さんは、いつも元気で色々な山行にお誘いいただきました。とても楽しい思い出でいっぱいです。彼女とは会報部で一緒になり会報の編集でも、いつも中心的存在で『やまびこ』の制作では彼女に頼り切りでした。そんな彼女に低山からロングハイキング迄、色々と計画して戴きお誘いいただきました。ありがとう御座いました。私の記憶に残る北横岳から蓼科山、尾瀬の沼山峠そして最後に同行したのは蔵王古道でしたね。素晴らしい景色と思い出に残る宿、語りだしたら切りがありません。蔵王古道は動画をこのページをお借りして掲載致します。またこの場で彼女の山行の思い出の写真を何点か掲載したいと思います。



尼ヶ禿山

2023.06 に玉原高原に行きましたブナの原生林を歩きました。

玉原高原



天城山縦走

2017.04 に行った会山行で天城山の縦走を行いました。この時は星さんのお別れ山行も兼ねていました。

天城山縦走

蓼科山 北横岳

2022. 09

北八ヶ岳に 6 人のメンバーでゆきました。まだまだ暑さの残る中でも、かつ子さんは元気いっぱい残暑の北八ヶ岳をたのしんでいました。



蔵王古道



上野駅新幹線ホームにて

出発の日、上野駅の新幹線ホーム集合でメンバーが集まってきました。
楽しい旅の始まりの一時でした。



Foresuto Sangoro にてビールで乾杯

フォレスト 三五郎、本来はスキーホテルのようです。
洒落た山小屋風のホテルでメンバーも大満足のほてるでした。

ホテルでくつろぐかつ子さん



クマの出没が多そう
で珍しい一斗缶
を利用したクマよ
けです。

クマよけの缶を撮影するかつ子さん

蔵王古道の動画



蔵王古道の動画（下の URL をクリックしてください。かつ子さんが沢山出てきます。）

<https://www.youtube.com/watch?v=Suu5DSiwCNo>

八丈島 2023 忘年山行



昨年の忘年山行で行った『八丈島』、彼女は担当として、この山行では大変お世話になりました。残念ながらみんなと行く最後の忘年山行になってしまいましたが、お鉢巡りや島内観光と楽しい思い出がいっぱいです。

何時でも元気一杯で会の山行に参加されたかつ子さん
ご冥福をお祈り致します。



かつ子さんからの『つぶやき』メール

安彦秀夫

一昨年 2022 年の忘年山行『伊豆大島』の帰りに、「来年は伊豆八丈島に行きたいね。未だ行ったことがないので、是非とも企画して…！」と懇願されました。

私は、子供が幼稚園の頃に家族で 1 度行っただけだったので、「良いね！企画しましょう！」と即答をした覚えがあります。

翌 2023 年の忘年山行を「かつ子さん、山口洋子さん、私」の 3 名が担当することになり、Zoom 打合せ (8/4) でお互いの希望を出し合いました。

『日程、登山する山、宿泊ホテル、往復の船、島内移動手段』などの情報収集と関係先への問い合わせ (予約) が本格的にスタートしました。

最後までなかなか決まらなかったのが、現地での移動手段でした。ホテルバス、町営バス、タクシーは、全てダメでした。残るは『レンタカー』の利用のみと判断し、現地タクシー会社 5 社全てに問合せをし、何とか希望の車を確保する目処が立ち、これで、『伊豆八丈島忘年山行』の実現にグッと近づいた…と、担当者 3 人は一安心しました。しかし…、かつさんが家庭の事情で参加できないことになりました。念願 (悲願) の八丈島に行けなくなったことは、本人は勿論、私もガッカリしました。

ところが、ある日突然「八丈島に行けることになった！」と言う嬉しいメールが飛び込んできました。「これで悲願達成できるね！」と私も喜びました。

そして、12 月 11 日 (月) ~14 日 (木) に、21 名がミニ海外山行を楽しみました。帰りの船から『御蔵島』と『三宅島』を眺めながら「是非とも訪れたい！」と、熱い思いを抱いていたかつさんの姿が印象的でした。

八丈島忘年山行が終了し新年を迎え、今後の山行に思いを馳せている 1 月 4 日 (木) に、かつ子さんから『つぶやき』と題したメールが届きました。

★行く予定はありませんが八丈小島情報です。漁船のツアーがあるそうです。

海が荒れるとすぐ中止になるそうですが…。

★御蔵島には興味があります。三宅島と合わせて行くかもしれません。

★房総のグランドキャニオン「小鋸山」はご存知ですか？ 旧会員の南海さんが、

「良かった！良かった！」と言っていました。2 月に行くかもしれません。

★連日の〇〇で疲れました。たまには台所を飛び出したいです。

御返事無用です。☆鈴木 かつ子☆ (注) 私が一部文面を加工しています。

『返事無用』とあったので、敢えて返信をしませんでした。「無視して情報交換をしていたら、希望も膨らみ、こんなに早く旅立たなかったのでは…」と悔やんでいます。夢半ばで旅立ったかつ子さん、思う存分の旅を楽しんでください！

かつ子さんを偲んで

村田綾子

聡明、快活、元気印のかつ子さん！早過ぎます。
何事も前向きな貴女がこんなに急に！ きつとご自分の体の事、分からなかったのしょうね。一緒に登った山は多々ありますが、剣山、石鎚山の時などは車で迎えに来てくれて貴女の家で計画を立て、二人で珍道中しながら登りましたね。楽しかったね～。「一緒に百名山を達成しようよ！」再三声をかけてくれましたが、ままならない返事しか出来なくて本当に残念でした。

仕事の最中も「村田さん、山へ行こうよ」と声が聞こえてなりません。山よりも高い所へ早々に行行ってしまっけて付いて行けません。「貴女の事は忘れません」と言いたいけれど認知症になったらごめんね。

かつ子さんへ

山口洋子

かつ子さんは、1つの山に何度も登っていましたね。
いくつかの道が、どうつながっているのか。
そこで又、新たな道に遭遇すると、その道はどこに行くのかを調べに、またまた山歩きに出かけ、自分の納得のいく地図作りを完成させているように思えました。

かつ子さん、今もカメラ片手に新しい山道を歩いているのしょうね。
楽しい山歩きの思い出がいっぱいです。

金子真紀

何度か山と一緒に歩いていただき、力強い歩み・豊富な知識、とても尊敬していました。

岩の先が見えず、悩む皆の先頭に立ち『行ける！』と進む冒険者のかつ子さん。
私が『あ、すみれ』と言えば『これはね、〇〇すみれ(憶えられず)だよ』と。
色々な事に興味を抱く存在感のある、頼れる楽しい先輩でした。

やまびこへ感想文を投稿した際には、自分では気付かなかった点を細かく添削して下さり、ちゃんと読んでくれているのだと毎回ほっこりとしたものです。
今でも山を歩いていると、ふとこんな時かつ子さんなら何と言うだろう、とか、綺麗な景色や花に出会うと、もしかしたら近くにいるのかな、なんて思う事もあります。本当にたくさんお世話になりました。ありがとうございました。

鈴木かつ子さんを偲んで

山脇 多美

かつ子さんとは同年齢で、生まれ月も2ヶ月ほどの違い、どっちが若い！
どっちがお姉さんと言っていました。
それなのにこんなに早く逝ってしまうなんて・・・
行動力があり、趣味も多く、山も一緒に楽しみました。しばらく会ってないだけで「久しぶりだね～ 元気だった？」って又会えそうな気がしてしまいます。
ご冥福をお祈りします。

鈴木かつ子さんとの旅の思い出

桐生 千恵子

鈴木かつ子さんと初めて会ったのは2003年5月の公開バスハイキングの天城山でした。そしてその年の7月に入会しましたね。
健脚でしたので山歴を聞いたら、マラソンをしていたとか！！
思い出すのは、10数年前に二人で旅をしたことがあります。広島～瀬戸内海の戦争の跡が残る大津島（人間魚雷）大久野島（毒ガス製造工場）と暗い戦争の歴史をかつ子さんの説明を聞きながら旅をしました。
そして、宮島観光～下関に移動して自転車で関門海峡のトンネルを渡りと、5日間のハードな旅を歴女のかつ子さんに教えてもらう事ばかりでした。
山では、何とんでも『宝篋山』を知り尽くしていて、案内してくれました。これからも『宝篋山』に行くたびにかつ子さんの事を思い出すでしょう。
ご冥福をお祈りいたします。

かつ子さんの思い出

八巻 幸子

会報部で、お世話になりました。
宝篋山には最初親戚の方からこういう山があるということで連れて行ってもらいました。また駅のコンコースでの写真展を何回か見に行きました。いつも素敵な写真が飾ってありました。心からご冥福をお祈りします。

かつ子さんを偲んで

村上 和子

かつ子さんとは、塩見岳に登った時のことが思い出されます。

長野県大鹿村の民宿に泊まった時の事です。住民は、「東京から美味しい水を求めて移住してきたのに、リニア中央新幹線を通すため南アルプスの下にトンネルを掘削し、残土でこの大鹿村がなくなってしまう」と、嘆き反対していることを聞きました。

綺麗な水や高山植物などへの影響を思い、「一旦自然が破壊されたら元に戻らないですよ」と、かつ子さん……。遠くから見守ってくださいね

私達は素敵な景色を眺め、綺麗な花畑を歩き、おいしい水も沢山いただきました。またお会いした時はお花畑で遊びましょう

鈴木かつ子を偲んで

四元 一成

あっという間の出来事した！！ なかなか信じられません。

例会の時の席は、私の後ろの席でした。

かつさんと沢山の山に登りました。特に思い出は剣岳・屋久島・岩木山・今年の妙高山・火打山です。

剣岳の登山の時は、事前に妙義山でトレーニングして登りました。

屋久島に登る時は、綿密な計画書を作って貰いました。

岩木山の時は、登るのが早くて、着いていけませんでした。

妙高山に登る時は、植物学の先生に頼んでもらい、先生と一緒に植物の説明を聞きながらの楽しい登山でした。

特別な思い出は、いつも拙い文章を校正して貰いました。

大変ありがとうございました。

加藤延子

かつ子さ～～ん、お空の上でシャッター押しているかな？・・・

伊勢路歩きで撮ってくれた、“風伝おろし”（霧の現象）、の写真が大好きな一枚になっています。同じ風景でも、技と感性そして心がこもると、こんなに違う写真になるのかと感動し、勝手ファンになったんですよ。

以来西白井駅の写真展を楽しみにしていました。何回目かの写真展を見に行った時、気にいった写真の話をするに「賞をもらった写真だよ…」と話してくれて、私の目もまんざらでないと、い～～い気分にしてくれました。

次はお空の上での写真展かな？ 招待待っています。

拝観料はシニア割引でお願いし～～ますネ。

素敵な思い出ありがとうございました。

鈴木かつ子さんの思い出

江崎 昌子

夏山で大汗をかいてやっとの思いで山小屋に着きホッと、どっかりと座りお茶を飲みポーッとしていると、かつ子ちゃんはポーチを取り出し、お顔のお手入れを始めました。化粧水を含ませたコットンで汗と汚れをきれいに拭き取り化粧水と乳液をつける。色白できめの細かい美しいお肌はこうして美しさを保つのだなあ〜と感心してながめていましたら、

「ぐりちゃんもちゃんとやらなきゃダメよ。」と注意されました。そうですね！

2023年7月に蔵王古道のお誘いを受けて興味深いルートと一緒に登りました。登山者の少ないルートで静かな登山を楽しみ、(三五郎)というロッジにかつ子ちゃん他 5 名で宿泊、山談議で大いに盛り上がりました。この時は同室ではなかったのですが、美しさを保つお顔のお手入れは拝見できませんでしたが……。心の中には、いつも色白できめの細かやかな美しいお顔のかつ子ちゃんがいます。

嶋本 道子

一月の会山行、明神岳明星岳に参加しましたが前々日あたりに、どのルートで行きますかと、かつ子さんからメールを頂きました。

当日、一緒に新橋乗り換えで行くことになりました。

小田原までの長い時間色々な話をしましたがその中で印象的だったのが、少し前、ご主人様の具合が悪い時に「夫が置物でもいいから生きてほしいと思った。」という言葉でした。今までとは違うので、これからは又違う人生が味わえるかもしれないと笑いながら話したのを覚えています。

まさか、かつ子さんが急逝されるとは思っていませんでした。何とも言えない気持ちでいっぱいです。

宝篋山滝コース、足利の山々、色々ご一緒させて頂きました。今でも山に行くと、かつ子さんの思い出話が飛び出しますよ。

沢山お世話になり、ありがとうございました。

心からお悔やみ申し上げます。



鈴木かつ子さんを偲んで

山岡 みや

鈴木かつ子さんのご逝去に対しご冥福をお祈りし、お悔やみ申し上げます。
かつ子さんが、お亡くなりになったと聞いた時は、「かわいそうに、もっと
生きたかっただろう」と胸がいっぱいになりました。

会報部では、最後まで責任をもって仕事をし、みんなから頼りにされる存在
でしたので残念です。元気だったその姿が今も目に浮かびます。

かつ子さんとご一緒したのは、昨年 4 月、「さきたま古墳公園と忍城跡ウ
ォーキング」でした。さきたま緑道～さきたま古墳公園～忍城跡へと、CL と
して案内してくれました。

かつて、かつ子さんが、「私は歴女なの」と言っていたことを覚えています
が、正にその言葉通り、緑道には、モニュメントや万葉集の歌碑あり、古墳公
園には、国内最大級の大型古墳あり、更に石田三成の水攻めで有名な忍城あり
と歴史満載のウォーキングでした。

かつ子さんは、一人で下見をし、案内してくれたのです。

高い山にはご一緒できませんでしたが、史跡探訪ウォーキングをもっと案内
していただきたいかったです。

本当にいろいろとお世話になりありがとうございました。



岡田 友子

お元気だったかつ子さんがお亡くなりになったこと、未だに信じられません。
かつ子さんとは 2 年前の忘年山行の担当で一緒でした。山が大好きで頼りにな
る方だと思いました。

美味しそうにビールを飲む笑顔がかわいかったです。
まだまだこれからたくさん関われると思っていたのでとても残念です。

昨年の秋にテントはもうやらないからと 70 リットルのザックをいただきま
した。かつ子さんの山愛を受け継いで、かつ子さんのザックとあちこち歩いて
いきたいと思います。天国でもきっとあちらの山を登っていることでしょう。
短い間でしたがありがとうございました。
ご冥福をお祈りいたします。

鈴木かつ子さんを偲んで

羽鳥健一郎

亡き人を偲び元禄こぶし咲く宝篋山へ弥生の晦日
「A4」は小町山への分岐点 亡き山友に教えられしが
我が庭と亡き山友は幾たびも宝篋山へみなを案内す



【2021年3月末撮影「宝篋山の元禄こぶし」】

鈴木かつ子さんがリーダーで行った時の写真です。極楽寺コースを進みこぶしの咲く道を経由して山頂に着きました。こぶしが満開でした。合掌

鈴木かつ子さんを偲ぶ

【山で偶然に2度会って、そして東葛山の会に入会しました】

猪狩晃一



永木さん 100名山制覇記念 苗場山山頂にて (令和4)

私の場合はちょっと違って私が東葛に入会する前からのお付き合いであり、日頃の登山活動はそれなりにあったが、大きな山での一緒は多くはなかったが何故かエピソードがいくつかあったのでその辺から書かせて頂く事にしました。おおよそ20年前白井市の写真サークルに入会した時にかつ子さんはすでに会員として居ました。会員は20人限定（その頃は入会希望者が多かった）でその中でもひととき目立った存在で展示会、撮影会と中心的に活動していました。

山の会で活動している事は合評会に山の写真を出していましたが、でもその頃は山のお付き合いはなかったので、話すらしませんでした。写真の会で数年経って東葛山の会に入会するきっかけになった『山で偶然にもかつ子さんグループ（東葛）に会いました、しかも2度ですよ!!』そしてその時2度とも失敗がありました。

1 回目は私の電子書籍（東葛 HP）に記載しましたが『十勝岳夫婦登山』で羽田空港を朝1番で出発（2006年7月）その日の内に登る計画で千歳空港からレンタカーで登山口に着いたのが11時過ぎ、それから登り始めて1時間過ぎた頃下山する7・8人のグループに会った。その中にかつ子さんが居たのです。それにはびっくりしましたよ！（東葛の人達だったようでしたが当時私は彼女しか知りませんでした）

“それからが大変” 頂上に着いたのが15時過ぎ、間違っただけで反対側に下りてしまっただけで、間違いに気づき頂上まで引き返したが2時間のロス、下山途中から暗闇道を歩くことになり命拾いのお粗末な失敗談でした。

教訓 その1 夏山でも下山時間15時を守るべし。

教訓 その2 頂上に着いたら即、下山道を確認すべし。

2 回目がその翌年の8月『常念岳登山』でした。私共3人（連れと友人）は朝一番車で家を出て一の沢に着いたのが11時頃、それから一休みして出発してまもなく6人位の下山グループ（東葛メンバー）に会った。何とその中にかつ子さんが居るではないか！ “びっくり仰天” どうなっている！ 100名山であったからでしょうか！

十勝岳で会った時は道迷いのトラブルがあったが、この時もまたもや自業自得の不運に見舞われたのです。常念小屋には4時ごろ着いて、頂上までの往復2時間半、日暮れまでは下山出来ると踏んで、荷物を置いて出発しようとした時、小屋の主人が来て、『今から登るのは危ないから止めなさい』強い語調で注意されたことで翌日登ることにした。この日は朝から雨、台風が接近しているとの事。昨日登らなかった事を後悔しながらも予定の蝶ヶ岳走は断念しても目の前の常念岳は登頂しようとしたら雨の中か出発となった。

雨のガレ場は滑りやすく大変であったがどうにか登り、下山出来たが台風の為雨足は酷くなって、蝶ヶ岳への縦走をあきらめ、雨の中の下山となった。

教訓 その3 教訓1の『下山時間15時を守るべし』は裏目に出て失敗。リーダーとはその場に合わせ臨機応変の判断が必要でしょう。台風の予報はあったはずなのに何故強行したのか不思議？

この偶然の出会いがあった後、色んな事情で妻や友人が登山を諦めたことから単独行を余儀なくなりましたが『1人登山は危険』と言う事で地元の山の会を探し『東葛山の会』知った。入会の前に実態を知るために『公開募集の登山教室』に参加し、その後会員であったかつ子さんに入会の労をお願いし入会させて頂きました。それから10年間ぐらいいは写真、登山と一緒に活動していましたが写真サークルを10年前に退会し、新規サークルを作り活動していましたが、だんだんと会員が少なくなり、自前の展示会開催が難しくなり、昨年から私ど

もの展示会と一緒に展示してくれて今年も継続し展示してくれることになっており、また再入会も勧めていた矢先でした。

かつ子さんは多趣味で自宅居間に 30 個位のトロフィーが飾ってあったので「あれはご主人がゴルフで取った物ですか」と聞いたところ、

「全て私がマラソン大会でもらったものよ」当然の様にさらっと答えたのにはまたまた驚きました。

高校時代からマラソンの選手かと思っていきましたが、どうも子育てが終わってから始めたようだ聞いてまたまたびっくりでした。多才だったのですね！

また読書家でもあり、一推しの本の情報交換をした事もありました。

私が紹介された本は『永遠の 0(特攻隊、ゼロ戦)』と『出口のない海(人間魚雷、回天)』で山口県周南市大津島を訪問したとも言っていました。身内の方に関わりがあったらしく深い思いがあったのでしょうか。私の紹介した 1 冊が間違っただけでなく御巣鷹山墜落事故の新聞記者の物語であったことから苦情ももらってしまいました。

『山好き爺さんの山旅記と写真集』の本作りはかつ子さんのお奨めだった。

山の会では、得意の文章力とパソコン力で『やまびこの編集』を担当し、会に貢献してもらったので今後はその穴埋めも大変だと思います。私も投稿文の校正ではお世話になりました、おかげであまり恥をかかずに済みました。

昨年の 6 月永木さんを入れて西白井で食事をした時、かつ子さんが書いた本(かっちゃんの小さな旅=B5 判 200 ページくらい)年に 1 冊にまとめていると

『写真が大分たまったでしょうから 1 冊の本に纏めたらどうですか』と提案されたわけです。自分としては全くその気はなかったので驚きました。ただ友人の中には自分史を書いて冊子と送ってくれた人も居たので羨ましくも思っていました。我々戦中派は厳しい環境で生き抜いていた人もおり、サクセスストーリーのように自分史を書く人が少なからず居ました。せっかくきっかけを作って貰ったので『誰の為、何のため』考えて、まずは『アメリカ在住の孫と私がこの世を去ってから読んでもらう家族の為』、『長い付き合いのあった友人達』へ送る事で自分なりに納得して冊子として纏める事にした。いざやるとなると資料集めが大変だった。入会 15 年古い物は捨てた物もあり、かつ子さんに聞くと半年前に全ての原稿を処分したとの事、ただバックナンバー全て持っていたので何冊か借りて打ち直したり、新規文章を追加したり、写真選びや業者への見積り依頼や、冊子を作った経験は仕事での企画書づくりはそれなりにやってはいたが本格的な本作りは初めてであり、大まかな編集をかつ子さんから教わったり、自分史を書いた友人から聞いたり、印刷会社にも教わりました。すったもんだし 3 ヶ月はゆうにかかりました。はっきりわかったのは『印刷会社に依頼するのは印刷と製本のみ』でない。50 部で 100 万円以上かかるとの事でした。ワードの使い方はプロバイダーのサポートを最大限利用して、最後の纏めのページの繋ぎはアプリが必要な事からかつ子さんに手伝って貰った。その他は全て自分でやり業者には印刷と製本のみで 50 冊約 23 万円安く上がりました。配布先は友人と身内でしたがほぼ快く受け取ってもらえたと思っています。自慢話や自己顕示に受け止められないかとの心配もありましたが内心は

ともかくその対応は無かったですし、ほとんどは喜んでお礼の連絡をくれました。協力者のかつ子さんに冊子を届けた時何故か『奥さん何か言っていた』聞かれたので、(女房は知人でした)女房曰く『自己満足の道楽ね!』と言ってまるで無関心だったので私は『俺が居なくなってから読んでくれ』と女房に言った、それを聞いて かつ子さんニヤッと笑っていました。皆さんへの本の紹介にあたり『やまびこ』に記載した文章も多くあったが新会員も居るので清水さんに相談し、会長の了解を得て『東葛 HP、SP ギャラリー』に(我が生業の記事を割愛して)記載させて頂きました。また例会では会長からも PR をして頂きました。皆さん読んで頂きありがとうございました。かつ子さんとは15年間この会で会山行や日帰り山行は多く一緒に活動しましたが数少ない100名山の思い出の山として写真を紹介します。令和4年10月の『苗場山登山=永木さん100名山制覇記念山行』は『やまびこ』にも記載しましたが2泊3日の厳しい赤湯コースで私と永木さん(何故かこの日は元気なし)はヒーヒーしながら登っていたがその前方でかつ子さんの颯爽と歩く姿が格好良かったのを今でも思い出します。下山して100名山制覇のお祝いの乾杯しようと言う事で越後湯沢の『老舗そば処中野屋』で乾杯、舞茸の天ぷらと蕎麦は評判通りに美味しかった。その席でかつ子さんから『猪狩さんの文章評判が良いし、永木さんと親しいから寄稿文書いてよ』との話があって、(よくあるほめごろし!)と思いつつも仕方なしに受ける事になったが、どうせなら登る前の方が写真やネタ探しが楽だったのと思いつつも。数日後完成文を送ったら、例によって校正文と一緒に『力作ね!良くあそこ(ネタ)まで書けたわね!とお褒めの言葉を頂きました。本人はもちろん遺族の方には残念・無念としか言いようがないでしょうが。山の会の活動(100名山制覇等)、写真活動(キャノンコンテスト入賞等) マラソン活動(数多いトロフィー等)、自分のホームページ(かっちゃんの小さな旅)を開設したり、その文章と写真で1年分ごとに本にしたりとその自由な行動力、会でも1・2を争う健脚、それに74歳にはとても見えない颯爽とした行動『格好いい生き方』そんな羨望の念を持った方も多くいらっしゃったと思います。私も写真で20年と、山で15年長い付き合いでした、今迄付き合い頂きありがとうございました。『心安らかにお眠りください』

編集後記

元気いっぱいだった鈴木かつ子さんの突然の訃報に接し、驚いたのは私ばかりでは無かったです。「登山」で、「会報」編集で、そしてブログ等の趣味の世界で、夢や目標を数多持ち、人一倍活発な生き方をされて来た彼女ただだけに、それらが道半ばで成し遂げられなくなってしまった事を、私自身に重ね合わせて見ても、何ともお気の毒で無念の一言につきます。

この年になればいつ何時何が起きても…という言葉が、身近な方の出来事で、改めて自らの心に刻み込みました。家族を慌てさせない配慮だけはしておかなければと思う昨今です。改めてご冥福をお祈り致します。

井上順之

毎年春には奈良を歩くのが退職後の恒例行事です。遥か天平の昔に想いを馳せながら万葉集や百人一首等に出てくる地を歩きます。今年は念願の桜井市にある音羽山観音寺に行ってきました。このお寺はNHKの番組「大和尼寺精進日記」に登場する尼寺で、和尚さんの人柄や山菜料理など人気があり、興味深く見ていました。音羽山の中腹にあり、参道入り口からお寺まで約1時間、けっこうな急坂で、特にお寺近くなると勾配がきつく、郵便配達のアートバイも登れないほどです。何とかお寺にたどり着いたら和尚さんたちは留守。雨も降ってきたので少し雨宿りをしていると和尚さんが帰ってこられ、本堂に通されました。小雨の中他に参拝者もなく、憧れの和尚さんを独り占め。親しく話をして手作りのかりんと金柑のジャムをお土産に買いました。

今回は雨で登山はあきらめました。音羽三山ハイキングコースでもあり、また訪れたいものです。

前田 悟

原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォントサイズ MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月20日までにお願いします。

<担当>山岡、桐生

連名でお願いします

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。

発行日 令和6年5月1日

発行者 東葛山の会

会長 安彦 秀夫

編集 会報部